

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	2-3-2		事業名	「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の活用と推進
評価(成果)			課題	
<p>[市)企画部]</p> <p>創造都市さっぽろの推進の起爆剤となることが期待できるアイコモンズ・サミットの誘致に成功し、同会議の開催やその後の普及活動により、映像や音楽のコンテンツ産業の振興に貢献していくことが期待できる。</p> <p>府内研究により、創造都市さっぽろを推進していくための重点取り組みを設定することができた。</p>			<p>[市)企画部]</p> <p>グローバルな都市間競争が激しくなっている中、都市力の向上策として、創造都市を標榜している都市が国内外に多数出現しているなか、札幌版創造都市の推進を着実に進め、国内外から注目され、創造的な活動の場を求めている人材が流入して都市していくために、創造都市をコンセプトとした、活動の輪を広げて、効果的な情報発信をしていく必要がある。</p>	
<p>[経)産業振興部]</p> <p>都市プランディングを進めていく上で、基本コンセプト、VI戦略の基となるデザインをまとめたマニュアルを作成し、VI戦略の基本方針の整備を行った。また、東京事務所、サミット支援担当部、交通局事業管理部との協働による、具体的な事例展開を行った。</p>			<p>[経)産業振興部]</p> <p>VI戦略のマニュアルに基づき、積極的に具体物に展開し、事例を積み重ねていくことで、対外的な情報発信を進めていく、市民に更に浸透させていく必要がある。</p>	

今後の事業の予定・方向

[市)企画部]
創造都市さっぽろを推進していくきっかけ、象徴となるエリアを設定して多面的な活用をすることにより、新しい価値観や相互関係を創造するとともに、具体的活動を誘発していく創発による市民、企業の参加を促進していく。
[経)産業振興部]
創造都市さっぽろを効果的に情報発信するため、府内の創造的、先進的事業に対してVIの活用を働きかけていく。VIを地元の企業を含め多くの人が活用できるための効果的な展開方法を検討する。平成19年度に整備されたVIを活用し、札幌の良質なイメージを醸成・発信することで、クリエイティブ企業・人材の進出、定着や注目度のアップなど、域内への投資促進を進めるキャンペーンとして展開する。

事業費の推移

項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	14,500	32,000	17,000	16,500	80,000
	財国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	14,500	32,000	17,000	16,500	80,000
予算	事業費	21,800	38,500	-	-	60,300
	財国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
	その他	0	0			0
	一般財源	21,800	38,500			60,300
実績	事業費	20,466	-	-	-	20,466
	財国・道支出金	0				0
	市債	0				0
	その他	0				0
	一般財源	20,466				20,466
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				73.7%

計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)

(全体)

[19年度]

計画事業費に計上されていない創造都市さっぽろ推進研究費の予算を補正したため、計画事業費を上回る予算・実績となった。

[20年度]

アイコモンズ・サミット開催費の増などにより計画事業費を予算が上回った。